

地域とともに歩む東和銀行

地域社会の発展とともに

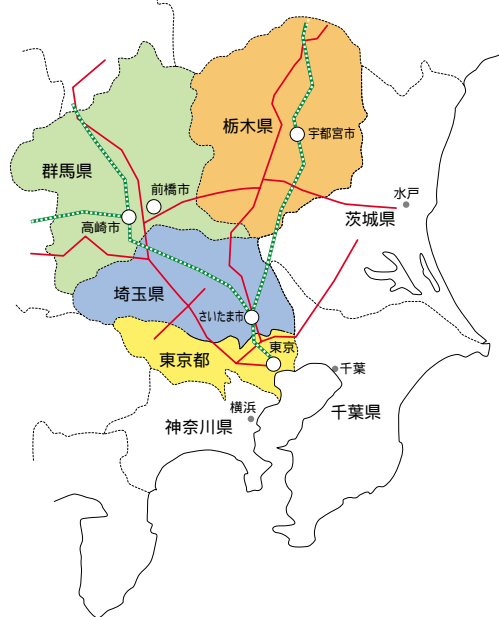
当行は大正6年の創立以来、地域のための銀行として地域社会の発展とともに歩んでまいりました。

当行が営業基盤とする群馬県及び埼玉県は、首都圏のベッドタウンとして、また、交通インフラに恵まれた産業・観光地帯として発展を遂げています。

北関東を中心とした営業基盤

北関東は、経済の中心である東京都に隣接する地理的条件の良さも相まって、首都を取り巻く経済圏として発展を続けています。また、経済の発展とともに、当行のお取引先である中小企業の皆さまの経済活動も広域化しています。

当行は北関東の群馬県・埼玉県を中心に店舗網を構築していますが、このネットワークを活かして、それぞれの地域社会の皆さまの活発な経済交流を支援するとともに、豊かな暮らしづくりへのお手伝いを通じ、信頼を築きあげてまいりました。



産業と自然に育まれた地域社会と恵まれた交通ネットワーク

群馬県は日本列島のほぼ中央に位置し、美しい自然や数多くの温泉地など観光資源が豊富で、1年を通して行楽客・観光客が絶えません。産業は製造業が活発で、輸送機器、機械、電子部品の3業種が製造品出荷額の概ね50%を占めています。

関東平野の中央に位置する埼玉県も、秩父の山々など自然に恵まれ、人口の増加と都市化の進展から商業が発達して

り、工業では輸送機械・一般機械・化学、食料品の4業種が1兆円を超す出荷額で全国有数の内陸工業県となっています。

また、当行の営業地域は、関越・上信越・東北・北関東自動車道・圏央道などの高速自動車道路網と、上越・長野・東北新幹線の高速度鉄道網が整備された地域であり、首都圏と各地方を結ぶ経済・産業の要衝として、近年著しい発展を遂げています。



尾瀬



関越自動車道

地域密着型金融の推進に関する取り組みについて

当行は、経営理念として「役に立つ銀行」「信頼される銀行」「発展する銀行」を掲げ、「お客さま、株主さま、役職員」が三位一体となった経営体制の確立を目指しております。

そして、当行の経営体質の抜本的な改善により、将来に向けた確かなステップアップを実現するため、「プランフェニックス～地域から頼られる銀行を目指して～」に基づき役職員が一丸となって努力しております。

このプランフェニックスの原点が、「靴底を減らす活動」であり、プランフェニックス主要施策を推進することにより、地域密着型金融の着実な実現を図ることとしています。

基本方針

「地域から頼られる銀行を目指して」

取り組み期間

平成19年度下期～平成21年度

当行では、「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、将来に向けた確かなステップアップを実現するため「プランフェニックス（平成19年度下期～平成21年度）」に取り組んでおり、この計画期間の終了時期に合わせた取り組みとします。

重点取り組み事項

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

- ・群馬大学との連携強化
- ・創業・新事業支援向け融資制度の活用
- ・ベンチャー企業向け業務の推進

(2) 経営改善支援機能等の強化

- ・経営改善計画の作成支援
- ・中小企業再生支援協議会の活用
- ・法務、財務、税務の専門家、専門コンサルタント等の取引先への紹介
- ・企業支援室担当者による経営改善指導、行内研修の実施

(3) 事業再生に向けた取り組みの強化

- ・東和フェニックス株式会社を活用した企業再生支援
- ・ハンズオン型事業再生手法を活用した再生計画の策定
- ・中小企業再生支援協議会の積極的な活用
- ・整理回収機構の企業再生支援スキームの活用
- ・DES、DDS、DIPファイナンス、コベナンツ等の活用

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進

- ・無担保、第三者保証人不要の事業性ローンの活用
- ・中小企業診断士育成のため、資格試験対策スクールへの派遣
- ・行内・外部研修による「目利き」能力の向上

(2) 中小企業に適した資金供給手法の活用

- ・コベナンツを活用したシンジケートローン等の組成、推進
- ・私募債引受け業務の推進
- ・動産、債権担保融資の取り組み

(3) 業務提携推進室の新設

- ・先進行との業務提携の具体化に向けた取り組み
- ・付加価値の高い幅広い金融商品・サービスの開発

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生への取り組み

- ・地方公共団体や商工団体との連携強化
- ・ビジネスマッチング機能の強化
(東和ビジネス交流会の開催等)
- ・コンサルティング業務の強化
(地域経済研究所による税務相談、法律相談等)

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ・経済レポート、税務トピックスの発刊
- ・企業経営動向調査の実施
- ・年金相談会の開催
- ・講演会、各種セミナー、ビジネスレポートサービス等の情報提供やビジネス支援
- ・利用者満足度アンケート調査の実施

4. 目標とする経営指標と実績

項目	指標	実績 (平成20年3月)	中間目標 (平成21年3月)	最終目標 (平成22年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	(1) 創業・新事業支援融資実績	36件	80件	160件
	(2) ランクアップ率	$\frac{\text{ランクアップ先数}}{\text{経営改善支援取組み先数}}$ 10%	5%	10%
	(3) 再生計画策定率	$\frac{\text{再生計画策定先数}}{\text{経営改善支援取組み先数}}$ 20%	15%	25%
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用	(1) 私募債引受け件数	3件	5件	10件
	(2) BIZ - クイック実行金額	23億円	50億円	100億円
	(3) ABL(動産・債権担保)スキームによる融資実行件数	2件	5件	10件
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1) 経営者セミナー他各種セミナーの開催回数	16回	20回	40回
	(2) ビジネスマッチング成約件数	7件	40件	80件
	(3) 年金相談会開催回数	170回	350回	700回

地域金融機関としての役割

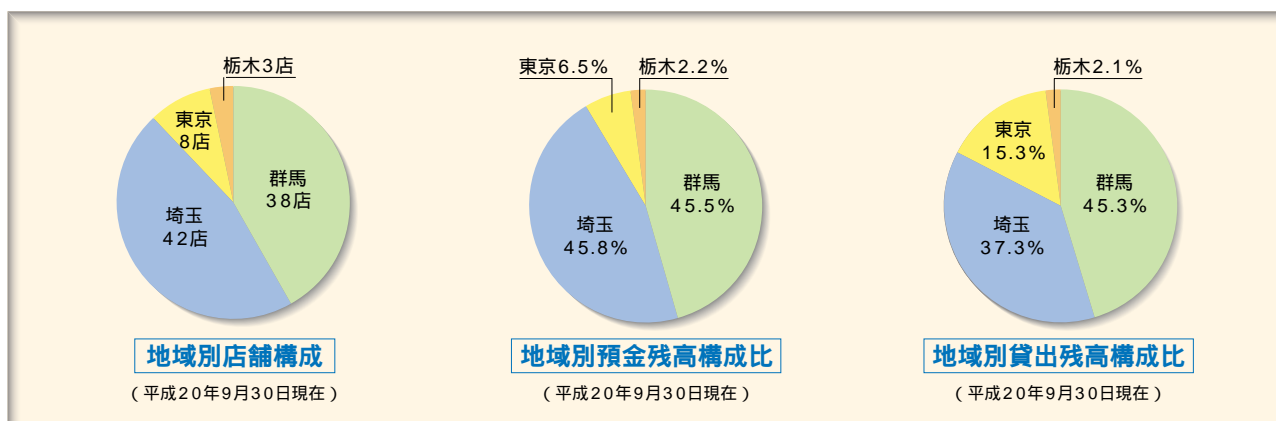
経済のグローバル化や情報通信技術の発展から、産業構造が大きく変わっていくなか、その対応に迷われるケースが多くなっていると思います。当行は、こうしたお客さまへの適切な情報提供、専門的な立場でのアドバイスや財務面でのお手伝いを、きめ細かに行ってまいります。

また、こうした変革により新しい産業が創出されますので、次代を担う新しい産業や企業の芽を育て、地元企業や地場産業の発展に金融機能を通して貢献していくことが、私たち地域金融機関の使命と考えています。

一方、当行は誰もが暮らしやすい豊かな地域社会を作り上げ発展させていくために、地域社会の一員として、環境保護・文化事業の開催や協賛・スポーツ支援などの活動を行っています。良き企業市民として当行がなすべき活動や、行員が自主的に取り組む活動など、地域社会に根ざした活動の輪を広げています。

当行はこれからも、地道で息の長い活動を続け、地域社会とともに歩んでいきたいと考えています。

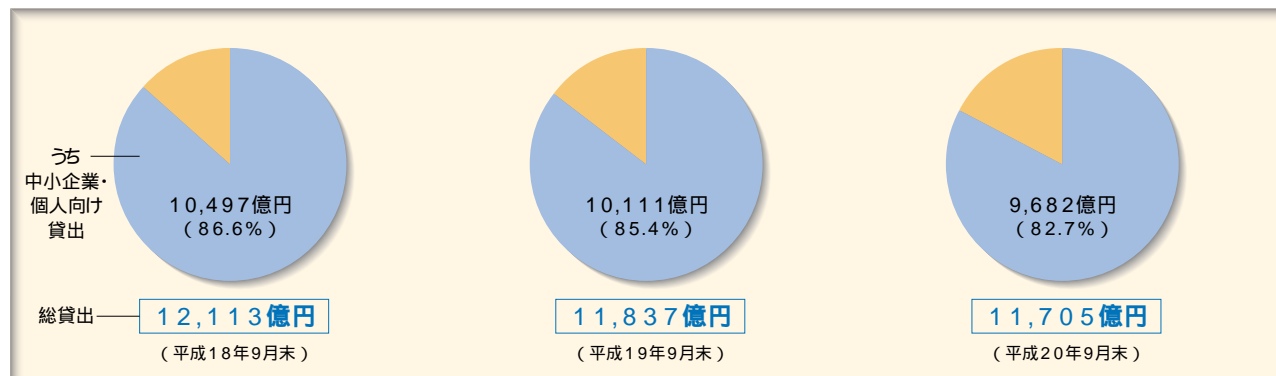
1. 地域への資金還元(信用供与)による貢献について



中小企業・個人向け貸出の推移

当行は、営業地域のお客さまからお預りした大切な預金を地域の中小企業や個人の皆さまへの貸出に向けています。

平成20年9月末の総貸出は11,705億円で、そのうち82.7%の9,682億円が中小企業及び個人の皆さまへの貸出となっています。



2. 地域振興への貢献について

ボランティア活動

地域行事や各種団体活動に対して、寄付や協賛により援助を行うとともに、多くの行員が各種ボランティアとして参加しています。

ボランティア活動のうち、本部主管の平成19年度の主な活動実績は下記のとおりです。

平成19年度活動実績

ぐんま県民マラソン	90人	ランナーの受付や記念品配布など
献血	44人	赤十字血液センター
尾瀬のゴミ持ち帰り運動	19人	尾瀬でのゴミ袋配布や清掃
合計	153人	

また、各種募金や、障害者施設で作成するカレンダーを購入するなどの資金面での援助も行っています。



ぐんま県民マラソン



献血

環境保護活動

尾瀬のゴミ持ち帰り運動

いま、地球環境問題が世界的規模で関心を集め注目されていますが、美しい地球を守り続けていくことは、私たち一人ひとりの責任であり大切なことです。群馬県北部にある尾瀬の貴重な自然は、祖先から受け継ぎ子孫へと引き継いでいくかけがえのない遺産です。

環境保全や森林資源保護といった観点から、尾瀬の美しい自然を守っていくために、行員の自主的な活動として「尾瀬のゴミ持ち帰り運動」を、平成2年から継続的に実施しています。尾瀬の入山者に、当行が作ったオリジナルのゴミ袋を配布しゴミの持ち帰りや自然保護を呼びかけるとともに、放置されたゴミの清掃活動などを行っています。



オリジナルのゴミ袋で「ゴミ持ち帰り運動」

地域とのふれあい

各地での夏祭りをはじめ、地域の行事や催事などへの参加・協力を通して、地元の皆さまとの交流を深めています。毎年全店で1,000名以上の行員が地域の行事に参加しています。

ぐんま県民マラソン

群馬県や前橋市、高崎市、上毛新聞社が主催し、県内外のランナーに広く親しまれている「ぐんま県民マラソン」の第18回大会が、平成20年11月3日に1万人を超える参加者を集めて開催されました。当行では、第1回大会から地元企業として大会に協賛するとともに、運営スタッフとしてのボランティアや選手としてのエントリーなどによる行員の参加を通して、地域の人たちとのふれあいやコミュニケーションを深めています。

第1回大会からの当行行員によるボランティアの延べ人数は、1,700人を超えています。



夏祭りへの参加



ぐんま県民マラソン

文化活動

地域文化の向上に貢献したいとの考えから、文化活動を継続的に実施し、また、文化事業の共催や協賛を行っています。

TOWA県民文化講座

平成2年から、(財)群馬県教育文化事業団 群馬県民会館との共催で、文化人や著名人による講演「TOWA県民文化講座」を開催しています。平成20年度は、平成20年10月にスポーツジャーナリストの二宮清純さんを招いて講演いただき、大盛況でした。

過去19年間で36回の開催実績があり、延べ入場者数で約18,000人以上の皆さまに楽しんでいただいています。



二宮清純さん

東和よいこ劇場

子供たちが心豊かに成長することを願い、夢と感動を贈る「東和よいこ劇場」を、平成3年から開催しています。これは「おさんぼさんぽテクテクテク」と、軽快な音楽に合わせて歌ったり、日本の昔話を題材にした物語などを、劇場用にアレンジした色鮮やかな影絵により幻想的な世界を創り出し子供たちに楽しんでもらうもので、お子さまの情操教育に役立つと好評をいただいています。

平成19年10月に埼玉県秩父市の秩父宮記念市民会館で、平成20年5月には群馬県桐生市の「桐生市市民文化会館」で開催し、年間約1,500人のよい子たちがファンタジックな影絵劇を楽しみました。

過去17年間で35回の開催実績があり、延べ入場者数で約30,000人の皆さまに楽しんでいただいています。



萩原朔太郎賞

前橋市と萩原朔太郎賞の会が、前橋市の市制百周年を記念して制定した萩原朔太郎賞に、平成5年の第1回から協賛しています。同賞は、日本近代詩に多大な貢献をした同市出身の詩人・萩原朔太郎の業績をたたえ、もっともすぐれた現代詩を表彰して、日本文化の発展と地域文化の向上を図ることを目的としています。

平成20年度の第16回の受賞作品は、鈴木志郎康さんの「声の生地」が選ばれました。



鈴木志郎康さん



3. 地域サービスによる貢献について

当行では、地域の皆さまに喜んでいただけるよう多彩な商品でサポートするとともに、ATMの充実やさまざまな情報提供によるサービスにより、暮らしや経営のサポートを行っています。

ATMの充実

当行のATMは365日無休で、朝8時から夜9時までご利用いただけます。(一部店舗外ATMは設置先の都合等により稼働日・時間が異なります。)

また、お客さまの利便性の向上を目的として、新型ATMを導入しています。

新型ATMは、従来のATMと同等の機能のほかに、いっぱいになったお通帳を新しいお通帳へ繰越する機能があり、営業店の窓口営業終了後や休日においてもお通帳の繰越が可能であり、お客さまの利便性を大きく改善いたしました。

また、ハンディホンの設置やお客さまの操作速度に応じた画面の変遷や大型画面の採用、音声によるご案内などバリアフリーの対応が充実しており、お客さまにやさしい機能となっています。

全91カ店と店舗外キャッシュコーナー2カ所に導入いたしておりますが、今後も計画的に導入を拡充してまいります。

東和の新総合口座「カタクリのはな」口座をご利用のお客さまは、当行のATMでの時間外手数料と他行ATMの利用手数料を、毎月の合計利用回数10回まで無料としています。

(平成20年9月30日現在)



覗き見防止フィルターや後方確認ミラーを取り付けました。

東和銀行ネットワーク(平成20年9月30日現在)

地域	店舗		店舗外 キャッシュ コーナー
		うち出張所	
群馬県	38	2	78
埼玉県	42	3	35
栃木県	3	0	2
東京都	8	0	8
合計	91	5	123

住宅ローンの充実

当行では、「東和マイホームセンター」を営業店窓口を設置し、住宅ローンなど、住宅関連融資を中心としたローンの相談や申込受付から資金交付までの事務手続きを行っており、本店営業部、高崎支店、太田支店、熊谷支店、川越支店では専門のスタッフを配置しております。

また、住宅ローンの商品性についても、お客さまのニーズに合った商品内容へと見直しを図り、分かりやすく利用しやすい商品を提供しています。

今後も、相談・受付体制、商品性などについて改善を続け、これまで以上にお客さまに便利にご利用いただけるよう努めてまいります。



東和マイホームセンター設置店舗(平成20年9月30日現在)

地域	設置店
群馬県	本店営業部、高崎支店、桐生西支店、伊勢崎西支店、太田支店
埼玉県	川越支店、熊谷支店、大宮北支店、行田支店、狭山ヶ丘支店、飯能支店、森林公園出張所、深谷支店、草加支店、桶川支店、鶴瀬支店、坂戸支店
栃木県	足利南支店

情報サービス・経営サポート

地域経済研究所

地域のお客さまの事業経営や暮らしに役立つ調査情報の提供、専門家による税金、法律、年金、経営などの相談業務、お取引先の社員研修業務を行っています。また、地域の発展を目的とした受託調査業務も行っています。



刊行物・調査	内容	平成19年度発行回数
経済レポート	世界・日本経済について分析・解説など	12回
税務トピックス	新税制・改正などについてタイムリーに紹介	5回
企業経営動向調査	取引先企業へのアンケートからの分析調査	4回
ボーナス支給見込調査	取引先企業へのアンケートからの分析調査	2回

相談内容	相談日	相談時間	受付窓口	平成19年度相談受付件数
税務相談	火・金曜日	9:00~17:00	地域経済研究所(本店)	554件
	水曜日		地域経済研究所(首都圏)	
法律相談	随時		地域経済研究所(本店)	18件

年金相談会

お客さまの身近にある各支店の窓口で、年金の無料相談会を年間約350回開催しています。

新たに年金を受給するときに必要となる裁定請求書の作成手続き、もらい忘れ年金の調査、年金受給見込額の調査、その他年金に関すること(雇用保険、健康保険等)について、専門の社会保険労務士が相談に応じています。

平成19年度開催実績

89店舗で延べ341回年金相談会を開催し、5,194人からの相談を受けました。その中で、年金に関する相談や手続きをお手伝いし、当行の口座へ3,847件の年金振込みを指定していただきました。

東和新生会

地元企業の発展に寄与できるよう、地域事業者との連携強化を図り組織化しています。

講演会及び各種セミナーの開催、インターネットサービス(略称SIS)、ビジネスレポートサービスなど、各種活動を通じて会員への情報提供やビジネス支援を行っています。これらの情報は、東和新生会ホームページ上で検索することができます。平成20年3月末で会員数は4,635社です。



平成19年度事業実績

項目	内容	実施回数	参加人数
会合	定時総会、理事会	4	119
本部主催セミナー	新入社員セミナー、経営者セミナー、ISO9001取得解説セミナー、新春講演会など	35	1,883
地区・支店主催セミナー	地区講演会、パソコンスクール、支店セミナー(健康セミナー等)など	103	3,526
その他事業	バスハイキング、やさしい中国語会話セミナー・楽しいビーズ教室など	13	298
合計		155	5,826